

## 会 議 議 事 録

1 会議名	第2回第2次長岡市自殺対策計画策定会議
2 開催日時	令和5年10月3日（火曜日） 午後1時30分から午後3時30分まで
3 開催場所	さいわいプラザ6階大会議室（オンライン会議併用）
4 出席者名	<p>（委員） 田中会長 砂山委員 土田委員 高橋委員 高坂委員 佐藤委員 島宗委員 田中委員 大川委員 寺嶋委員 星野委員 澁谷委員</p> <p>【オンライン参加】 反町委員 鈴木委員 関谷委員</p> <p>（事務局） 福祉保健部 水島部長 健康増進課 五百川課長 曾根課長補佐 こころの健康づくり担当 井口係長 食育担当 田中係長 北西地域担当 西脇係長 南地域担当 関本係長 栃尾地域担当 柳橋係長 油谷主査 大関保健師 五十嵐保健師 上石保健師 小川保健師 監物会計年度任用職員</p>
5 欠席者名	（委員） 中村委員 米山委員
6 議題	<p>（1） 第2次長岡市自殺対策計画の体系について</p> <p>（2） 第2次長岡市自殺対策計画推進事業について</p> <p>（3） 第2次長岡市自殺対策計画の評価指標について</p> <p>（4） SNS等相談連携事業専用アカウントカード配布に関するアンケート集計報告</p>
7 審議結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議題（1） 第2次長岡市自殺対策計画の体系案について説明し、承認された。</li> <li>・ 議題（2） 第2次長岡市自殺対策計画推進事業について説明し、承認された。</li> <li>・ 議題（3） 長岡市自殺対策計画の評価指標について説明し、承認された。</li> <li>・ 議題（4） 報告事項について報告がされた。</li> </ul>

8 審議の内容	
事務局	○開会、資料の確認
会長	○会長あいさつ <p>本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。先日、市の担当と打合せをしましたが、熱い気持ちで取組んでおり、私も専門職としてその期待に応えたいと思います。皆さんも何かご意見あれば、おっしゃっていただければ幸いです。</p>
事務局 (健康増進課長)	○議題（１）第２次長岡市自殺対策計画の体系について (資料 No. 1 により説明)
会長	資料４－１をご覧ください。「第２次長岡市自殺対策計画体系案」に対する意見・感想について、事前に質問をいただいておりますので、回答をお願いします。
事務局	長岡労働基準監督署、〇〇委員様より「ネットワーク化の参考例として柏崎保健所の地域職域連携の取組みとして進めている『職場の元気応援隊～働く世代の健康づくりを応援します～』を紹介します。」とご意見をいただいております。〇〇委員様よりご紹介をお願いします。
委員	(参考資料 No. 1 により説明)
事務局	(その他の意見・質問について、資料 No. 4-2 により回答)
会長	第２次長岡市自殺対策計画の体系について、ご意見ある方はいらっしゃいますか。
委員	いのちとところの支援センターから出された意見は、まったくその通りだと思います。これは長岡に限らず、新潟県全体あるいは東北地方でも、いろんなことで生きていくことが厳しい環境の地域というのは、本当に辛くなったら、あるいは人様の世話になるくらいなら死んだ方がいいという考えが根強い。それが自殺率が高いバックグラウンドにあり、これを変えていかないといけない。その方法のひとつとして、大勢の人を集めて行う啓発の場があつていいと思います。豆塚エリさんという、高校生の時に自殺企図して四肢麻痺になった後、自殺念慮が無くなり、今は死にたいと思っている人に、生きて、と呼び掛けている方がいます。「死にたい気持ちが消えるまで」という本も書かれています。そういう方から話をしてもらって啓発をすとか、ゲートキーパー研修の際に、偏見を変えていくような、地域の力で自殺を防ぐような内容を入れていくことも必要だと思いました。
会長	次の議題に進めたいと思います。

事務局 (健康増進課長)	(2) 第2次長岡市自殺対策計画推進事業について (資料 No. 2 により説明)
会長	先ほどの資料4-1をご覧ください。「第2次長岡市自殺対策計画事業一覧」に対する意見・感想について、こちらも事前に質問をいただいた委員もおりますので、それに対する回答をお願いします。
事務局	(資料 No. 4-2 により回答)
事務局	新潟県臨床心理士会の〇〇委員様より、「基本施策4. No5の「トラウマカウンセリング」ですが、慎重に行わないと相談者が再び傷つく体験になったり新たな問題が起きたりする可能性があります。トラウマに触れるよりも安全感や安心感を強めていくことのほうが良いと思います。文中にあるようにレジリエンスを高めることを前面に出す方が安全と思われれます。」と意見をいただいています。NPO 法人女のスペース・ながおかの〇〇委員様より、事業について補足説明をお願いします。
委員	<p>臨床心理士会様のご指摘の通り、今回提出した事業内容は誤解を招きかねない表現であるため、この場を借りて補足説明させていただきます。トラウマカウンセリングですが、相談者の困りごとや生きづらさの背景には過去に受けたトラウマの影響が大きいかもしれないという、いわゆるトラウマインフォームドケアの視点を持って対話に臨むことを大事な点としています。目指すところはご意見のあった通り、レジリエンスを高めることと考えておりますので、文面を後ほど訂正させていただきます。</p> <p>相談者の中には明らかに医療を必要とする方がいらっしゃいますので、医療機関につながるよう対応しています。逆に医療機関からの紹介でカウンセリングにつながる方もいます。ご本人から相談があった際にすでに医療機関受診中の方には、主治医にカウンセリングを受けても良いかを必ず確認しています。今後も私たちだけではアセスメントできないようなケースについて、皆さんからご意見をいただけるとありがたいので、よろしく願いいたします。</p>
事務局	長岡労働基準監督署の〇〇委員様より「①いじめ、嫌がらせ、パワハラに対する相談窓口として、当署内に設置されている総合労働相談コーナー及び個別労働紛争援助事業についての周知をお願いしたい。」「②併せて、職域におけるメンタルヘルス対策の体制整備及び相談窓口として、新潟県産業保健総合支援センターの周知もお願いしたい。」というご意見をいただきました。〇〇委員様、ご紹介をお願いします。
委員	(参考資料2, 参考資料3及び当日配布資料「令和5年度～労推法(パワハラ関

	係) 紛争解決援助業務フローチャート」により説明)
事務局	(引き続き、資料 No. 4 - 2 により回答)
会長	第2次長岡市自殺対策計画推進事業について、ご意見ありませんでしょうか。
会長	推進事業が146事業と、非常に膨れ上がっていますが、廃止した事業は具体的にあるのでしょうか。あるなら理由も教えてください。
事務局	今回削除させていただいた事業は20事業あります。そのうち、第1次計画中に廃止になった事業が6事業、そして、来年度以降は継続しない事業が7事業、基本施策の中に同じ事業が重複しており整理したものが7事業です。
会長	そのほか、ご意見ある方いらっしゃらないでしょうか。
委員	私が経験した事案で、過重労働の末、自殺に至った案件がありました。注意を払う人が会社の中におらず、家族には何も言わず、通院歴もなく、どこにもひっかからないまま、あつという間に自殺に至りました。会社の中で気がつく人がいなかったり、どこかでひっかかるところがないと、あつという間に自殺に至るのだと思いました。
委員	職域に対する取組みが弱いと思ってましたが、今日は労働基準監督署の〇〇様からいろんなことを意欲的に提案していただき良かったです。職域に対する研修会は、地域とは違う面があり、職域に焦点を当てたゲートキーパー研修を、労働基準監督署や労働基準協会や商工会議所等と連携して推進していくと、働き盛り男性の自殺を減らせるのではないかと思います。
会長	次は議題(3)、第2次長岡市自殺対策計画の評価指標について、事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料 No. 3 により説明)
会長	第2次長岡市自殺対策計画評価指標に対する意見・感想について、こちら事前にも委員からの回答をまとめてあります。意見をいただいた委員もおられますので、それに対する回答をお願いします。
事務局	(資料 No. 4 - 2 により回答)

会長	事務局から説明がありましたが、ご意見はありませんか。
委員	<p>中越地域いのちとこころの支援センターから、この地域における偏見を変えていかななくてはいけないという意見が出されましたが、長岡市はすでにたくさんの事業をやって充実していると思います。ただ、その評価は、何回やったか、何人参加したかというアウトプット評価が多いと感じます。地域の自殺に対する差別・偏見や、地域で取り組むべき課題と思ってもらえるかどうか、という点もアンケートが取れると良いと思います。一定数の市民を抽出するなり、他の調査と抱き合わせで、意識の変化が見れると良いです。すぐにそれができないのであれば、講演会、研修会でアンケートをとってチェックする。究極のアウトカムは自殺者数ですが、そこだけでは計りきれないところもありますので、あえてコメントさせていただきました。</p>
事務局	<p>確かに、自殺に対する偏見などが、長岡市の自殺の多さに影響しているというご指摘もごさいますので、意識がどう変わったかは事業の評価等で実施していきたいと思っています。その時の質問項目は皆様にご相談させていただきたいと考えています。</p>
会長	<p>研修会の前後で自殺についての意識の変化を見ていくのと、無作為抽出で自殺についての考え方の年次的推移を見ていく、二つの考えがあるということでしょうか。</p>
委員	<p>市民から無作為にという方法は、他の行政調査をやる時にあわせて実施する自治体もありますので、ご検討いただければと思います。</p>
事務局	<p>自殺というインパクトの強い質問事項を他のアンケートと一緒に盛り込んで実施することについて、実施する課の理解を得るのが難しい現状があります。長岡市では様々な法に基づく計画策定を行っており、ニーズ調査や無作為抽出のアンケート等も行っておりますが、自殺という性格性もあり、どこまで偏見という部分に特化して調査できるか、今後の検討課題とさせていただきたいと思っています。</p>
会長	<p>ほかにご意見ありませんか。</p>
委員	<p>評価指標について、国がモデルを示したのか、長岡市が独自で考えたのか、成功した自治体の指標を参考にしたのか、教えていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>自殺者数については国の「自殺総合対策大綱」をもとに設定しました。それぞれの指標につきましては、先進的に取り組んでいる江戸川区や佐久市の計画を参考にしております。佐久市は具体的な数値も設定しており、長岡市としても数値を示すことはできるのですが、どうやって取組みが広がっていったか、どのように発展していったか、プロセスを大事にしたいと思い、このように設定しました。</p>

会長	<p>他にご意見ないようでしたら、次に議題（４）「SNS 等相談連携事業専用アカウントカード配布に関するアンケートの集計報告について」事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 (健康増進課長)	<p>(資料 No. 5 により説明)</p>
会長	<p>今ほど事務局より説明のあったことについて、ご意見・ご質問ある方いらっしゃいますでしょうか。</p> <p>アンケートの結果を見ると、意見が分かれるのを感じました。初めての事業で概要が掴めずに躊躇する事業所もあると思いますので、まずできるところから始めて成功体験を積んで、それを皆様にフィードバックして少しずつ広めていければと考えます。特に皆様からご意見がないようでしたら、この議題はこれで終わります。</p> <p>時間に余裕がありますので、今までの議題について改めてご意見がありましたらお願いしたいと思います。</p> <p>民生児童委員協議会の〇〇委員、ご意見ありますか。</p>
委員	<p>学校を卒業したら、メンタルについての相談や様々な窓口について知ってもらうにはどうしたらいいでしょうか。また、私の地域ではまだ自殺について話題があがったことがないのですが、これからどのようにしたらよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>在学中は非常に手厚い支援がありますが、卒業後は親身になって相談して下さる方がなかなかいないのが現状です。今回、SNS のアンケートを実施した際に、やはり卒業する段階できちんと相談窓口があることを伝えていくことが大事ではとご意見をいただきました。専門学校や大学等でのゲートキーパー研修が進んでいない現状もありますので、今後充実させていきたいと思います。民間では若者の居場所作りに取り組んでいる大学生等もおり、そうした取組みをされている方やNPOとも連携していきたいと思います。</p> <p>地域については、コミセン対象にこころの健康づくり講座やゲートキーパー研修等のメニューを提示させていただき、手上げ式ですが、実施しております。そういう機会を利用して地域の方と話題を作っていけるといいと思っています。</p>
会長	<p>社会福祉協議会、〇〇委員お願いします。</p>
委員	<p>感想ですが、職域は労働基準監督署でいろんな取組みがあるのがわかりました。また、私どもの職場は職員のストレスチェックを毎年行っているのですが、今年は過去に比べて高ストレス者が増えた状況が最近わかり、職場でのケアを大事にしたいと改めて実感しているところです。</p>

会長	長岡地域振興局の〇〇委員、お願いします。
委員	職域、特に中小企業の従業員の方々はメンタルだけではなく他の健康課題についても非常に課題だと思っております。そこに、どう支援の手を差し伸べたいのか、メンタルと同様に、今後長岡市さんと協力して進めてまいりたいと思います。
会長	いのちとこころの支援センターの〇〇委員、お願いします。
委員	自殺に対する一般的な考え方については、反町先生は青森も一緒とおっしゃっていましたが、私は全国一緒と思っています。それは日本の歴史、特に戦国時代の腹切り、追い腹なども影響していると思います。いわゆる正攻法だけでは偏見や認識を変えることは難しいため、反町先生から、こういうことを伝えると偏見を変えられるというものがありましたら教えていただきたいです。
委員	先ほども少しお話しましたが、豆塚エリさんという、生きづらさはあるけど生きる道を選んだ方、最近そのような人たちのことを「パパゲーノ」と呼んでいます、そういう方にお話ししていただくのが良いと思います。そういう話を聞くと、自殺のリスクがある人たちのリスクが下がるという研究もありますが、偏見を持っている人の意識も変えることができるのではと思います。いわゆる専門職が、医学的な視点から語るだけでは響きません。車椅子の方なので長岡にいらっしゃるのは難しいかもしれませんが、リモートで話すことは可能かもしれませんし、多くの長岡市民の方に聞いていただく機会を持るといいと思います。
会長	商工会議所の〇〇委員、お願いします。
委員	当所では、経営者のメンタルヘルス対策、従業員に対する対応策等を学ぶ場を設けております。今年度は行政で行われている健康経営についての事業等を当所のホームページに、他機関からのご案内という形で掲載しています。今日、初めて労働基準監督署の取組みを知ることができたので、ホームページに掲載することで協力できればと思います。当所で行っているメンタルヘルスセミナーについては皆様からの参加も大歓迎ですので、ご活用いただければと思います。
会長	長岡地域病院ソーシャルワーカー連絡会の〇〇委員、お願いします。
委員	病院にいますと、自殺企図されて入院し治療されて社会に帰られる方、通院や内服で自殺リスクを回避されてなんとか元気になっていく方もいらっしゃるのですが、相談員のところに来る方は仕事、人間関係、家庭、お金等、治療プラスアルファの問題を抱えています。医療だけで元気になることは難しく、自殺対策計画の中でい

<p>会長</p>	<p>ろんな方達とつながりを持つことで、患者さんにもつながっていければと思います。</p> <p>臨床心理士会の〇〇委員、お願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>自殺対策は、「苦しい、助けて」と声を出せるようになる対策が考えられると良いと思いますが、私は、「苦しい」と言わざるを得ない環境、社会が変わることも必要ではないかと思います。自殺対策と直接関係していることではないのですが、「苦しい、助けて」と言わなくてもいいような安心で安全な、子どもたちが希望を持てるような社会をどうやって作っていったらいいか、とてつもなく難しいことですが、そういった視点を持って取り組んでいきたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>薬剤師会の〇〇委員、お願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>今回、自殺の考え方、偏見という話がありました。考えてみますと、そういうものは見えづらくてわかりづらい。地域での常識、年代別の常識もそれぞれあって、なおさら見えづらいと思います。こんなに素晴らしい団体が揃っているので、それぞれの団体が大切にしたいこと、目標にしていること、変えたいと思っていることを出していくことで、もしかすると偏見や、地域のわだかまりや問題になっているところが言葉として全員が共有できるのでは、またそれが改善のヒントになるのではと思いました。</p>
<p>会長</p>	<p>青陵大学の〇〇委員、お願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>偏見というのはやはり根強いと、長岡市さんだけではなくいろんな自治体に行かせてもらって感じております。偏見とは、「嫌悪感の正当化」と私は学生に教えています。みんな一生懸命生きているのに勝手に死ぬことを地域の人たちは嫌っているのだと思います。そして、嫌っている自分が小さい人間に思えるから、それを正当化して、自分には関係ない、自分にはできない、家族がいるんだからしょうがない、みたいに片付けてしまっているのが現状なのかと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>〇〇委員、全体を通してご意見ありますでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>今日も各委員から熱心にご意見を出していただき、特に労働基準監督署の〇〇委員より効果的だと思われるご提案をいただきましたので、職域の対策もさらに進展していくと思って期待しています。私もできるところは協力したいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>SNS のアカウントカードについて質問です。例えば、相談の場に置いておき、心配な人がいたらここに連絡したらいいよ、と気軽に渡していいのか。そして、ライ</p>



事務局	<p>フリンクに相談して、それがどうフィードバックされるのか。例えばカードを渡した弁護士がそのまま引き継がなければならないのか。またはライフリンクから別の場所につながるのか、ということについて教えてください。</p> <p>カードの配布につきましては判断が分かれるところだと思いますので、ある程度渡す基準は設けさせていただきます。つなぎ支援ですが、ライフリンクとは自治体連携協定を締結しており、実際にライフリンクに相談があった中で、自殺のリスクが高く、自治体の支援が必要と思われる方については、本人の同意を得て長岡市の健康増進課に連絡があります。その中で本人に対し、関係機関と連携して具体的な支援を開始していきますが、弁護士が関わっていたことがわかれば、情報共有をし、引き続き支援をお願いすることもあると思います。</p>
委員	<p>弁護士によっても自殺対策に詳しくない人もおり、どういう人に渡すかきちんと引き継がなければならないので、詳細がわかっていたら教えてください。</p>
会長	<p>本日は関連なご意見をいただきまして、進展したような内容もあるかと思しますので、非常に良い会議だったと思います。以上で議題は終了させていただきます。進行を事務局にお返しします。</p>
事務局	<p>(自殺対策協議会委員の任期についての説明と依頼)</p>
部長	<p>○部長あいさつ</p>
事務局	<p>○閉会</p>
9 会議資料	別添のとおり